
ソファー

蝶々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ソファー

【Nコード】

N1999R

【作者名】

蝶々

【あらすじ】

恋人じゃない友達。でも彼が好き。

好きだと言ったら、友達にも戻れない。

全部なくなっちゃうのが凄くこわい。

だから今日も強がって女友達でいないといけないんだ。。。

(前書き)

今恋をしてる人。恋をあきらめかけてる人に読んで欲しくて書きま
した^^

今日は、日曜日アタシの携帯は鳴らない。
メールと言えば迷惑メール。

携帯の画面を睨みつけても、何の変化すらない。

腹が立つが、鳴らないものは、鳴らないのだ。

ふてくれて床へ携帯を放り投げた。

コンポには、アイツが忘れていったCDが入ったまま。

アタシの趣味に合わないアイツらしい音楽が流れている。

日曜日の朝は、鳴らない携帯との睨めっこから始まる。

忘れた頃電話してくるアイツは、アタシの事を本当に忘れてしまっ
たんじゃないんだろうか。

それを考えると余計に腹が立ってくる。

アイツとアタシの微妙な友達関係は、果てしなく続いているのかも
しれない。

夜中に急にやってきて、アタシのお気に入り一人掛けソファで
グーグー寝てしまうアイツ。

アタシを、突然街へ連れ出すアイツ。

ある日突然、アタシの携帯を鳴らすアイツ。

アタシは、いつもアイツに振り回されている。

それでも、そんなアイツがアタシはずっとずっと前から好きだ。

でも、「好き」と言う一言でアイツが消えてしまいそうで良いお友
達関係は続いている。

だから、アタシはアイツに「なんで？」と言えない。

”なんで”と切り出したら、きつと電話をくれないのかとか、どん
どん問詰めてしまう。

良いお友達は、きつとそんな事を言わない。

だから、アタシはアイツを失わないように言葉を選ぶ。

そんなのお構いなしでアイツは、アタシの中にどんどん入ってくる。

一人掛けのソファアが狭いだのなんだのと文句を良い、アタシの部屋にも図々しく文句まで付ける始末だ。

それでも、たまにやって来てくれるとアタシを憶えてたんだとほっとしたりする。

ソファアに腰掛けアイツのCDをもう何回もリピートしている。

CDをアタシの部屋に忘れていった事も忘れて、どこぞでカワイイ彼女でも作って今頃デートでもしてるんだらう。

少し悲しくなつて、携帯のメモリーでアイツを検索する。

ボタン一つ押すだけなのに、今押ししてしまうときつと声を聞いただけで泣いてしまいそうだった。

また、携帯のアイツの番号と睨めっこだ。

すると、携帯画面が点滅した。アイツからの電話だった。

画面を見るだけで嬉しくて涙が出てくる。

きつと、声もうわずつてしまふ。

でも声が聞きたくて通話ボタンを押す。

アイツはいつもの様に能天気な声でCDを今から取りに行くからと電話を切った。

この能天気なアイツのお陰でアタシの目は真つ赤だ。

こんな顔を見られたら、アイツはなんて言っただらう。

慌てて顔洗い、髪の毛をまとめる。

きつとCDを受け取ったらすぐに帰ってしまうのだらう。

程なくして、アイツがやって来た。

ズカズカと上がり込み、勝手にコンポからCDを抜き取る。

そして、アタシの顔を見て「お前泣いてたのか？」と言った。

泣いてないわよと言おうとするが、涙がどんどんこぼれて来る。

それを見てアイツは、オロオロする。

「アンタが全然来ないからじゃない。

アタシずっと待ってたのに。」

心の溜まっていた言葉が溢れて来る。

「お前が電話かけてこないから、来れなかったんだよ。」

「アイツは、アタシに反論する。」

「アタシ、そんな彼女みたいなマネできないわよ。」

アタシは、泣きじゃくりながらしゃがみこんだ。

するとアイツは「わざとCD置いて帰ったのに電話こないから。。。」

「

そういつて、アタシの頭を撫でた。

そして、「毎回言ってるだろ？お前のソファーは一人掛けで狭いつて。」

これじゃ並んで座れないしキスもしにくいんだよ。」

そういつてアイツは、泣いているアタシにそつとキスをした。

そして、アタシの耳元で「好きだよ」と囁いた。

(後書き)

最後まで読んでくださってありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1999r/>

ソファー

2011年10月8日19時50分発行